



京広美だより

きよりこうび

令和8年7月(274号)

発行元

京都府広告美術協同組合

情報文化委員会

TEL 075-313-0800

FAX 075-313-0810

第68回日広連全国大会 in 中国・広島2026

令和8年6月4日から6日までの3日間、「第68回日広連全国大会in中国・広島2026」が広島市において開催されました。中国広告美術業組合連合会の主管により開催された今大会は、「復興の街『ヒロシマ』からサインの未来へ」をスローガンに掲げ、全国各地から広告美術業界関係者が集いました。

大会式典は広島県民文化センターにて執り行われ、業界の発展に尽力された方々への表彰や来賓祝辞が行われるとともに、これからのサイン業界が担う役割や将来展望について活発な意見交換がなされました。人口減少や人材不足、デジタル技術の進展など業界を取り巻く環境が大きく変化する中、全国の仲間が一堂に会し、課題と展望を共有する貴重な機会となりました。



大会終了後の懇親会はリーガロイヤルホテル広島に会場を移し開催されました。全国各地の組合員や関係者が親睦を深め、地域を超えた交流を通じて結束を強める有意義な時間となりました。

広島は、被爆からの復興を遂げた平和都市として世界に知られています。大会期間中、参加者は広島の歴史や文化に触れながら、復興の歩みと未来への挑戦に思いを馳せました。復興を成し遂げた広島の力強い歩みは、変革期を迎えるサイン業界にとっても大きな示唆を与えるものとなりました。

全国大会で得られた知見や交流を今後の事業活動に活かし、サイン業界のさらなる発展と社会への貢献に取り組んでいくことが期待されます。全国から集った仲間との絆を深めるとともに、業界の未来を見据えた意義深い大会となりました。



SIGN EXPO 2026 開催報告

一般社団法人近畿屋外広告美術組合連合会(近広連)主催の「SIGN EXPO 2026」が、6月10日(水)から12日(金)までの3日間、大阪南港ATCホールで開催されました。今年のキャッチフレーズは「未来を描く SIGNの力」。サイン・ディスプレイ業界の最新技術や製品が一堂に会し、多くの来場者で賑わいました。出展社数は53社となり、最新機材や資材、デジタル技術など幅広い展示が行われました。

今回は運営体制が新たな形となり、各単組が役割を分担して準備・運営を担当することとなりました。京都府広告美術協同組合は「会場設営」を担当し、設営から開催期間中の運営まで円滑な展示会づくりに取り組みました。

会場では各種セミナーに加え、実演・体験コーナーも充実し、現場で役立つ実践的な内容が好評を博しました。また、今年は商談や休憩に利用できる交流スペースにキッチンカーを導入。飲食の提供も盛況で、多くの来場者が商談や情報交換の合間に利用する姿が見られ、会場全体の賑わいづくりに大きく貢献しました。

3日間の来場者数は11,599人となり、昨年を152人上回る結果となりました。数字としては微増でしたが、各ブースやセミナー会場では来場者がじっくりと情報収集や商談を行う様子が多く見受けられ、滞在時間も例年以上に長い印象を受けるなど、展示会の充実ぶりが感じられました。



業界の最新動向を共有し、新たなビジネスにつながる有意義な3日間となりました。

京広美としても、会場設営という重要な役割を無事に果たし、本展示会の成功に貢献することができました。今後も業界のさらなる発展に向け、組合活動に積極的に取り組んでまいります。

末筆となりましたが、ご来場いただいた方をはじめ、様々な形でご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。